

渡辺華山とその家族

期間：令和4年4月16日(土)～5月22日(日)

展示室：特別展示室

指定	作者	作品名	制作年	材質	形状	備考
		わたなべけかもん 渡辺家家紋		銅板		
	つばき ちんざん 椿 椿山	わたなべかざんぞう 渡辺華山像 (複製)	嘉永6年(1853)	絹本着色	掛幅	原本：重文 当館蔵
重文	わたなべかざん 渡辺華山	わたなべはしゅうぞうがこう 渡辺巴洲像画稿	文政7年(1824)	紙本墨画	掛幅	
重文	渡辺華山	渡辺巴洲像画稿 (5図)	文政7年(1824)	紙本着色 紙本墨画	掛幅	
市指	渡辺華山	ほどうえいぞうこう 母堂栄像稿	天保年間頃	紙本淡彩	掛幅	
市指	渡辺華山	ほどうえいざぞうこう 母堂栄坐像稿	天保年間頃	紙本淡彩	掛幅	
市指	渡辺華山	ほどうえいのぞうこう 母堂栄之像稿	天保年間頃	紙本淡彩	掛幅	
重文	渡辺華山	にちげつだいこくてん 日月大黒天	天保12年(1841)	紙本淡彩	掛幅	
		わたなべごろうぞうもしや 渡辺五郎像模写		紙本淡彩	掛幅	華山の日記『辛巳画稿』(個人蔵)を模写した
	わたなべじよざん 渡辺如山	ばいかちょうしゅんず 梅華長春図	江戸時代後期	絹本着色	掛幅	明治9年小華賛 高林コレクション
初公開	椿 椿山	けいかなのず 鶏冠之図	天保8年(1837)	紙本着色	掛幅	個人蔵
市指	椿 椿山	わたなべ ぞうこう 渡辺たか像稿	江戸時代後期	紙本淡彩	掛幅	
市指	椿 椿山	わたなべ ざ ぞうこう 渡辺たか坐像稿	江戸時代後期	紙本淡彩	掛幅	
		わたなべしょうかぞう 渡辺小華像	明治時代	絹本着色	掛幅	
	渡辺華山	ヒポクラテス像 (複製)	天保11年(1840)	絹本着色	掛幅	原本：重美 九州国立博物館蔵
	わたなべしょうか 渡辺小華	ヒポクラテス像	安政6年(1859)	絹本着色	掛幅	三宅友信賛 高林コレクション 華山作品の模写
	渡辺華山	こうりょういつすいず 黄梁一炊図(複製)	天保12年(1841)	紙本淡彩	掛幅	原本：重美 個人蔵
	渡辺小華	黄梁一炊図	文久2年(1862)	絹本着色	掛幅	華山作品の模写
	渡辺小華	じゆてんはくろくず 受天栢緑図	嘉永5年(1852)	紙本着色	掛幅	
		わたなべすまぞう 渡辺須磨像	明治時代	絹本着色	掛幅	

指定	作者	作品名	制作年	材質	形状	備考
	つばき にざん 椿 二山	つばきちんざんぞう 椿椿山像	明治時代	絹本着色	掛幅	
	椿 椿山	ふくだはんこうぞうこう 福田半香像稿(複製)	嘉永4年(1851)	紙本淡彩	掛幅	原本:市指 当館蔵
重文		わたなべかざんしよういん 渡辺崋山使用印	江戸時代後期			22顆
市指		わたなべじよざんしよういん 渡辺如山使用印	江戸時代後期			7顆
市指		わたなべしょうかしよういん 渡辺小華使用印	江戸時代後期 から明治時代			111顆中23顆
重文	渡辺崋山	たつあていしよ 立宛遺書	天保12年(1841)	紙本墨書	卷子	
重文	渡辺崋山	えことおへんじ 絵事御返事	天保11年(1840)	紙本墨書	冊子	
重文	渡辺崋山	たいやくねがいがきこう 退役願書稿	天保9年(1838)	紙本墨書	卷子	
重文	渡辺崋山	つばきちんざんあていしよ 椿椿山宛遺書	天保12年(1841)	紙本墨書	卷子	
市指	まつざきこうどう 松崎慊堂	しゃめんけんぱくしよ 赦免建白書	天保10年(1839)	紙本墨書	卷子	

重文＝重要文化財 重美＝重要美術品 市指＝田原市指定文化財 初公開＝初めて展示された作品
表記のないものは全て当館所蔵

